

# 脱炭素・防衛に資本投下

## 新しい形の社会貢献を

DNホールディングスは、再生可能エネルギーをはじめとした脱炭素事業を積極的に展開する。水素関連事業や、

今年立ち上げた木質バイオマス発電を手掛ける新会社「北の森グリーンエナジー」の事業活動などを通して、公

共事業とは異なるアプローチで社会課題の解決に貢献する。

2024年6月期の決算説明会で、新井伸博社長は「再生可能エネルギーは、事業規模が小さいものの、地域が抱える社会課題の解決には大きく貢献できる。公共事業に依存しない形で社会課題に対応していく新しい事業だ」と述べ、同社が掲げる脱請負に向けて継続的な事業推進に意欲を示した。

脱炭素事業は、大日本コンサルタントとダイヤコンサルタントの合併に伴うシナジー効果の創出、自衛隊施設関連業務と並ぶ同社の売上高拡大に向けた三つの施策の一つ。25年6月期の売上高目標を前年同期から23億6800万円増の365億円に置くが、売上高増加の12、13%程度に三つの施策が貢献する見込み

だ。

野口泰彦副社長は「脱炭素や防衛などの新規事業分野は、高い成長が期待でき、われわれの技術力も生かせる」とから、競争力もある。これまでは必ずしも十分な経営資源が投下できなかったが、今後は積極的にチャレンジしていきたい」と語った。

